

Title	青池慎一教授略年譜・著作等目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2006
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.63 (2006.) ,p.123- 135
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	社会学研究科定年退職者略年表・著作等目録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000063-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

社会学研究科定年退職者略年譜・著作等目録

青池慎一教授

略年譜・著作等目録

生年月日 昭和 17 年 6 月 3 日

学 歴

昭和 41 年 3 月 慶應義塾大学文学部社会学専攻卒業
 昭和 43 年 3 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了
 昭和 46 年 3 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了

学 位 社会学博士 (慶應義塾大学)

専門分野 イノベーション普及学, コミュニケーション学, 社会心理学

主な職歴

昭和 47 年 4 月 慶應義塾大学文学部助手 (昭和 51 年 3 月まで)
 昭和 50 年 2 月 イリノイ大学 (University of Illinois) 社会学部留学 (訪問講師) (昭和 51 年 3 月まで)
 昭和 51 年 4 月 慶應義塾大学文学部助教授 (昭和 61 年 3 月まで)
 昭和 54 年 10 月 慶應義塾大学文学部長補佐 (昭和 56 年 9 月まで)
 昭和 61 年 4 月 慶應義塾大学文学部教授
 昭和 62 年 4 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員
 昭和 62 年 4 月 杏林大学社会科学部非常勤講師 (平成元年 3 月まで)
 昭和 62 年 10 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員長補佐 (平成 3 年 9 月まで)
 平成元年 4 月 明治学院大学社会学部非常勤講師 (平成 2 年 3 月まで)
 平成 3 年 4 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科科学習指導委員 (平成 7 年 9 月まで)
 平成 4 年 10 月 慶應義塾女子高等学校校長 (兼担) (平成 7 年 10 月まで)
 平成 7 年 10 月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員長 (平成 13 年 9 月まで)
 平成 13 年 4 月 立教大学社会学部非常勤講師 (平成 16 年 3 月まで)
 平成 13 年 4 月 日本橋学館大学人文経営学部非常勤講師 (平成 17 年 3 月まで)
 平成 17 年 9 月 8 日 延世大学 (Yonsei University) Yonsei Communication Research Institute 訪問教授 (平成 17 年 9 月 15 日まで)
 平成 18 年 4 月 成城大学社会イノベーション学部非常勤講師 (平成 19 年 3 月まで)
 平成 19 年 3 月 31 日 慶應義塾大学文学部教授, 大学院社会学研究科委員 定年 (選択定年) により退職

学会及び社会における活動等

(学会関係)

昭和60年4月	日本社会心理学会監事(昭和62年3月まで)
昭和62年4月	日本社会心理学会理事(平成15年3月まで)
昭和62年6月	日本マス・コミュニケーション学会編集委員(平成2年5月まで)
昭和63年11月	産業・組織心理学会理事(平成13年3月まで)
平成元年4月	日本社会心理学会常任理事(平成7年3月まで)
平成5年6月	日本マス・コミュニケーション学会理事(平成9年5月まで)
平成9年6月	日本マス・コミュニケーション学会編集委員(平成11年5月まで)
平成11年4月	三田社会学会会長(平成14年3月まで)
平成11年6月	日本マス・コミュニケーション学会理事(平成15年5月まで)
平成11年	日本社会心理学会第40回大会委員長
平成13年10月	日本社会心理学会平成13年度総会議長
平成15年9月	日本社会心理学会平成15年度総会議長
平成16年4月	三田哲学学会会長(平成18年3月まで)

(社会的活動)

平成元年12月	東京都消費生活対策審議会臨時委員(平成3年11月まで)
平成2年4月	FM東京番組審議会委員(現在に至る)
平成3年	平成3・4年度神奈川県教育放送協議会委員・会長
平成4年4月	平成4年度東京都消費生活国際フォーラム企画委員会委員・座長
平成5年	平成5・6年度神奈川県教育放送協議会委員・会長
平成5年4月	平成5年度東京都消費生活国際フォーラム企画委員会委員・座長
平成6年4月	平成6年度東京都消費生活国際フォーラム企画委員会委員・座長
平成9年	平成9・10年度神奈川県教育放送協議会委員・会長
平成13年	平成13・14年度神奈川県教育放送協議会委員・会長
平成16年4月	(財)みずほ国際交流奨学財団選考委員(現在に至る)

著作等目録

著書

- | | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|---|
| 1. 社会学の窓 | 共著 | 1984年5月 | エイデル研究所 | 担当部分 コミュニケーションの基本的視点
p. 20～p. 27
著者 山岸健, 青池慎一, 島崎敬介, 平野敏政, 清原慶子, 唐澤和義 |
| 2. 日常生活とコミュニケーション | 共著 | 1986年7月 | 慶應通信 | 担当部分 第四章 ニュース(News)のコミュニケーション・プロセス分析 p. 121～p. 226
著者 青池慎一, 清原慶子, 長尾真理, 平野敏政, 山岸健 |
| 3. 入門社会心理学 | 共著 | 1989年4月 | 八千代出版 | 担当部分 第8章 第1節群集行動, 第2節普及と流行, 第3節流言, 第4節マス・コミュニケーション, p. 135～p. 150
著者 三沢謙一, 常木暎生, 水野節子, 坂西友秀, 渡邊芳之, 蓮見将敏, 藤本忠明, 藤田正, 青池慎一, 沼田健哉 |
| 4. 要説 人間関係論 | 共著 | 2003年4月 | 樹村房 | 担当部分 4章 人間関係とコミュニケーション, p. 60～p. 80
著者 青池慎一, 小川待子, 小玉敏彦, 広瀬隆雄, 福井要, 山口一美 |
| 5. 新・社会心理学 | 共編
著 | 2003年4月 | 慶應義塾大学出版会 | 担当部分 第9章 普及の執筆 p. 165～p. 188 および編集
編著者 青池慎一, 榊博文
著者 三井宏隆, 南隆男, 木島伸彦, 萩原滋, 井下理, 吉川肇子, 李光鎬 |
| 6. 現代社会心理学—心理・行動・社会 | 共編
著 | 2004年4月 | 慶應義塾大学出版会 | 本書は, 慶應義塾大学通信教育課程のテキストである「5. 新・社会心理学」(非売品)に新たな執筆者をむかえ, 3つの章を追加すると共に, 各章の執筆者による各章における専門用語解説(glossary)を付け加え, 市販用に刊行したものである。
担当部分 第9章の執筆 p. 165～188, 第9章の専門用語解説の執筆 p. 273～p. 274 および編集なお, 第9章の内容は, 「5. 新・社会心理学」におけるものと同ーである。
編著者 青池慎一, 榊博文
著者 三井宏隆, 南隆男, 木島伸彦, 萩原滋, 井下理, 吉川肇子, 李光鎬, 李津娥, 小川浩一, 内藤俊史 |

学術論文

- | | | | | |
|-------------------------|----|----------|-----------------------|--|
| 1. 革新的アイデアの普及に関する諸命題(2) | 共著 | 1967年3月 | 哲学50集
三田哲学会 | 担当部分 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
著者 宇野善康, 青池慎一 |
| 2. 革新的アイデアの普及に関する諸命題(1) | 共著 | 1967年10月 | 年報社会心理学
8 日本社会心理学会 | 担当部分 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
著者 宇野善康, 青池慎一 |

- | | | | | |
|------------------------------------|----|----------|--|--|
| 3. 消費者行動と新製品の普及過程 | 共著 | 1969年7月 | 吉田正昭, 村田昭治, 井関利明編
消費者行動の分析モデル
丸善 | 担当部分 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
著者 宇野善康, 青池慎一 |
| 4. 革新的アイデアの普及に関する諸命題(3) | 共著 | 1972年12月 | 哲学60集
三田哲学会 | 担当部分 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
著者 青池慎一, 宇野善康 |
| 5. 革新的アイデアの普及に関する諸命題(4) | 共著 | 1973年10月 | 哲学61集
三田哲学会 | 担当部分 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
著者 青池慎一, 宇野善康 |
| 6. 情報機能とイノベーション採用過程 | 単著 | 1975年9月 | 小林太三郎編
広告と環境
実教出版 | |
| 7. 医学と教育におけるイノベーションの普及過程 | 単著 | 1978年 | 教育と医学6月号
慶應通信 | |
| 8. ニュース情報の普及プロセス(1) | 単著 | 1979年9月 | ラジオコマーシャル46
文化放送 | |
| 9. コミュニケーション論からみた企業イメージの確立 | 単著 | 1980年4月 | ダイヤモンド
ハーバードビジネス4
ダイヤモンド社 | |
| 10. ニュース情報の普及プロセス(2) | 単著 | 1980年5月 | ラジオコマーシャル47
文化放送 | |
| 11. ニュース情報の普及プロセス(3) | 単著 | 1980年8月 | ラジオコマーシャル48
文化放送 | |
| 12. ニュース情報の普及プロセス(4) | 単著 | 1981年3月 | ラジオコマーシャル49
文化放送 | |
| 13. ニュース情報普及におけるニュース・バリュー要因 | 単著 | 1981年12月 | 哲学73集
三田哲学会 | |
| 14. 革新性(Innovativeness)概念とその測定 | 単著 | 1983年3月 | 慶應義塾大学新聞研究所年報20号
慶應義塾大学新聞研究所 | |
| 15. 消費者イノベーターとオピニオン・リーダーの普遍性に関する研究 | 単著 | 1983年6月 | 昭和57年度研究助成集
吉田記念財団 | |

- | | | | |
|---|----|----------|--|
| 16. オピニオン・リーダー概念をめぐる諸問題(1) | 单著 | 1983年6月 | PR 環境情報
No. 74
電通PRセンター |
| 17. オピニオン・リーダー概念をめぐる諸問題(2) | 单著 | 1983年7月 | PR 環境情報
No. 75
電通PRセンター |
| 18. イノベーターおよびオピニオン・リーダーのイノベーション・カテゴリー間における重複性—事例研究 | 单著 | 1983年12月 | 哲学77集
三田哲学会 |
| 19. イノベーション採用行動の構造 | 单著 | 1984年8月 | マーケティング
ジャーナル第4
巻第2号
日本マーケティング協会 |
| 20. イノベティブネス (Innovativeness) 概念をめぐる諸問題 | 单著 | 1985年3月 | 社会生活の場面
と人間
慶應通信 |
| 21. イノベーションのコミュニケーション・プロセス分析 | 单著 | 1985年 | 博士学位請求論文 |
| 22. 新製品購買行動の構造と広告 | 单著 | 1985年6月 | 昭和59年度助成研究集
吉田記念財団 |
| 23. オピニオン・リーダーの意思決定領域間オーバーラップについての一考察 | 单著 | 1987年3月 | 慶應義塾大学新聞
研究所年報
28号
慶應義塾大学新聞
研究所 |
| 24. コミュニケーション・ネットワークとイノベーション(新製品)の採用と普及 | 单著 | 1987年6月 | 昭和61年度研究
助成集
吉田記念財団 |
| 25. Innovativeness Structure of Japanese Households: A Case Study | 单著 | 1988年3月 | KEIO Communication
Review No. 9
Institute for
Communication
Research |
| 26. オピニオン・リーダーの多形性の検討 | 单著 | 1988年3月 | 日経広告研究所
報 Vol. 118
日経広告研究所 |
| 27. オピニオン・リーダー研究における諸論点 | 单著 | 1990年12月 | 哲学91集
三田哲学会 |

28. コミュニケーション・ネットワークの構造—地域社会における事例研究 単著 1993年9月 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要36号
慶應義塾大学大学院社会学研究科
29. イノベーション普及及研究の展開と課題 単著 1999年7月 三田社会学第4号
三田社会学会
30. オピニオン・リーダーの発信行動に関する一考察 単著 2002年8月 日経広告研究所報204号
日経広告研究所
31. 消費者の情報共有過程に関する一考察 単著 2003年1月 法学研究76巻1号
慶應義塾大学法学研究会
32. 多機能型イノベーションにおける使用行動分析試論 単著 2003年6月 日経広告研究所報209号
日経広告研究所
33. 予防的イノベーションの普及分析試論 単著 2005年4月 日経広告研究所報220号
日経広告研究所
34. ニュースの普及過程についての一考察—新しいニュース・チャネルの展開と普及に焦点をおいて 単著 2006年10月 日経広告研究所報229号
日経広告研究所

その他の論文等

1. 生活標準におよぼす広告の影響 単著 1973年10月 マーケティングニュース
No. 181
日本マーケティング協会
2. 象徴的採用 (Symbolic Adoption) 概念の再認識 単著 1979年3月 マーケティングニュース
No. 248
日本マーケティング協会
3. イノベーター論 単著 1984年11月 TASC No. 109
(財)日本たばこ総合研究センター
4. コーポレート・コミュニケーションのフロー 単著 1987年12月 コーポレート・コミュニケーション研究会報告書
日本経済新聞社

- | | | | |
|---------------------------------------|----|-----------------------|--|
| 5. コーポレート・コミュニケーションの今日的課題 | 单著 | 1990年7月 | さいころじすと
No. 23
日本心理学諸学会間連絡会 |
| 6. イノベーションのコミュニケーション | 单著 | 1991年11月 | 三色旗 第524号 |
| 7. 普及の研究 | 单著 | 1993年 | 日経BP社 |
| 8. メディアを利用しての健康教育の可能性 | 单著 | 1993年3月 | 厚生省心身障害研究
生活環境が子どもの健康におよぼす影響に関する研究
平成4年度研究報告書 |
| 9. 消費者教育読本(幼児・家庭向) | 共著 | 1993年3月 | 東京都消費者センター普及課
担当部分 第8章 1. マスコミ情報の氾濫, 2. 幼児に対するマスコミの影響, 3. 「くちコミ」の重要性, 4. ゲートキーパーとしての保護者の役割 p. 138~p. 143
著者 宮坂富之助, 森上史朗, 金森房子, 松田宜子, 富田昌志, 田中哲郎, 塩板美佐, 田川千枝子, 平出幸子, 門口芳美, 寺田かつ子, 川端良子, 定行まり子 |
| 10. 食のイノベーション普及論 | 单著 | 1994年4月 | AJICO NEWS & INFORMATION No.173 |
| 11. 入門流通講座 イノベーションの普及(1)~(15) | 单著 | 1994年7月~1994年9月の間の15回 | 日経流通新聞
日本経済新聞社 |
| 12. ヒューマン・ネットワークと国際間の情報流通—来日留学生の事例研究— | 单著 | 1995年3月 | 科研費補助金・重点領域研究「情報化社会と人間」研究成果報告書
「国際情報システムの実態」 |
| 13. 視聴者満足度調査システム | 单著 | 1995年6月 | AURA
フジテレビ編成局調査部 |
| 14. 番組評価の多次元化—視聴率万能からの脱却— | 单著 | 1996年11月 | 三田評論
第985号
慶應義塾 |
| 15. 大学入学広報のためのコミュニケーション学 | 单著 | 1997年3月 | 平成8年度大学入学広報セミナー報告書
大学入試センター |

- | | | | |
|--|----|----------|--|
| 16. 「イノベーション普及の社会心理学」第1回「イノベーションの創造と普及」 | 单著 | 1997年4月 | 住友ビジネス
Vol. 26, No. 1.
(株)日本総研ビ
ジコン |
| 17. 「イノベーション普及の社会心理学」第2回「イノベーション普及におけるマス・コミと口コミ」 | 单著 | 1997年7月 | 住友ビジネス
Vol. 26, No. 2.
(株)日本総研ビ
ジコン |
| 18. 「イノベーション普及の社会心理学」第3回「イノベーター」 | 单著 | 1997年11月 | 住友ビジネス
Vol. 26, No. 3.
(株)日本総研ビ
ジコン |
| 19. 「イノベーション普及の社会心理学」第4回「普及効果と逆普及効果」 | 单著 | 1998年2月 | 住友ビジネス
Vol. 26, No. 4.
(株)日本総研ビ
ジコン |
| 20. オピニオン・ギビング研究のすすめ | 单著 | 2001年9月 | 広研レポート
2001年9月
号, No. 172
日経広告研究所 |

学会報告

- | | | | | | |
|---|----------|----------|--------------------------|-------|------------------|
| 1. 菊栽培, りんどう栽培の普及過程 | 連名
発表 | 1967年 | 第8回日本社会心理学会大会
広島大学 | 連名発表者 | 青池慎一, 宇野善康 |
| 2. 地域社会におけるPCPの普及過程(集団過程) | 連名
発表 | 1968年11月 | 第9回日本社会心理学会大会
法政大学 | 連名発表者 | 青池慎一, 大森黎二, 宇野善康 |
| 3. 普及研究の分析枠組と集団過程 | 連名
発表 | 1969年 | 第10回日本社会心理学会大会
関西学院大学 | 連名発表者 | 青池慎一, 宇野善康 |
| 4. 普及研究におけるRogersモデルとHägerstrandモデル | 連名
発表 | 1972年11月 | 第13回日本社会心理学会大会
甲南大学 | 連名発表者 | 青池慎一, 宇野善康 |
| 5. 普及の集団過程—神戸島における絹さやエンドウ栽培の普及過程 | 連名
発表 | 1973年10月 | 第14回日本社会心理学会大会
立教大学 | 連名発表者 | 青池慎一, 宇野善康, 高木正朗 |
| 6. 農業生産財と耐久消費財の普及過程 | 単独
発表 | 1974年10月 | 第15回日本社会心理学会大会
岡山大学 | | |
| 7. 情報伝播過程についての一考察 | 単独
発表 | 1978年9月 | 第19回日本社会心理学会大会
関西大学 | | |
| 8. 情報の普及プロセスについての一考察—ニュース伝播プロセスの検討を通じて— | 単独
発表 | 1979年5月 | 日本広告学会関東部会 | | |

- | | | | |
|--|----------|----------|--|
| 9. 普及研究—イノベーターの領域間オーバーラップ | 単独
発表 | 1983年10月 | 第24回日本社会心理学会大会
東海大学 |
| 10. Innovativeness Structure of Japanese Households—A Case Study | 単独
発表 | 1983年9月 | A Conference for the Comparison of the Information Society Studies and Informationalization Policies in Japan, the United States and Europe
KEIO University |

学会シンポジウム, 研究会議等

- | | | | |
|---|--|--------------------|---|
| 1. Conference—Comparing Information Societies: Direction for Research に参加 | | 1980年3月
28~4月1日 | International Communication Center
School of Communications,
University of Washington,
Seattle |
| 2. 日本経済新聞社, 日経広告研究所主催「企業とコミュニケーション・シンポジウム—グローバル化と企業コミュニケーション—」の基調報告者 | | 1989年10月 | |
| 3. 日本マス・コミュニケーション学会 1994年度秋季研究発表会ワークショップ「ネットワーク社会における情報と財産権」の指定討論者 | | 1994年10月 | 日本マス・コミュニケーション学会 1994年度秋季研究発表会
明治学院大学 |
| 4. 日本応用心理学会第62回大会「公開シンポジウム 阪神大震災の教訓と課題」シンポジスト | | 1995年8月 | 日本応用心理学会第62回大会
共立女子大学 |
| 5. 日本マス・コミュニケーション学会, 韓国言論学会共同主催「1995年日韓シンポジウム—Globalization, | | 1995年11月 | 高麗大学
(韓国ソウル市) |

Localization and Press」に日本側プログラム責任者として出席

6. 三田社会学会 1998 年度大会シンポジウム「三田におけるマス・コミュニケーション研究の系譜と展開」のパネラー

1998 年 7 月 三田社会学会
1998 年度大会
慶應義塾大学

7. 日本マス・コミュニケーション学会、韓国言論学会共同主催「2000 年日韓シンポジウム—韓国大衆文化の交流と影響」に日本側役員（プログラム責任者）として出席

2000 年 6 月 17 日（土） 漢陽大学
（韓国ソウル市）

翻訳

1. P. D. ベネット, H. H. カサージアン著
消費者行動

共訳 1979 年 5 月

ダイヤモンド社

担当部分 第 5 章～第 8 章
訳者 井関利明, 青池慎一

2. E. M. ロジャーズ著
イノベーション普及学

共監訳 1990 年 5 月

産能大学出版部

担当部分 共同監訳のため本人担当部分抽出不可能
監訳者 青池慎一, 宇野善康

辞典等（項目の執筆）

1. 久保村, 田内, 村田編
マーケティングの基礎知識 (2)

1976 年 6 月

有斐閣

「商品普及過程と広告プロモーションの関係について説明せよ」についての解説

2. 金森, 荒, 森口編
経済辞典 新版

1986 年 9 月

有斐閣

「コミュニケーションの 2 段階流れ仮説」
「コミュニケーション・プロセス」
「普及理論」
「オピニオン・リーダー」
「パーソナル・インフルエンス」

3. 加藤, 中里編
心理学基礎用語集

1990 年 4 月

八千代出版

「イノベーション」
「群集」
「マス・コミュニケーション」
「モップ」
「流言」
「流行」

座談会, フォーラム等

1. 研究会と卒論指導

1983 年 6 月

慶應義塾大学報
第 18 巻第 3 号
慶應義塾

出席者 青池慎一, 松村高夫, 加藤修, 田中俊郎, 清水猛, 大熊一郎 (司会)

- | | | | |
|---|-------------|--------------------------------------|---|
| 2. 特集 2010 年のライフスタイル—知的情報革新のもたらすもの(司会) | 1988 年 6 月 | 三田評論 6 月号第 893 号
慶應義塾 | 出席者 安西祐一郎, 熊沢武, 高橋潔, 青池慎一(司会) |
| 3. 大学部開設百年—研究・教育創造のために— | 1990 年 2 月 | 塾 第 160 号
慶應義塾 | 出席者 青池慎一, 寺尾誠, 新田敏, 堀田一善(司会) |
| 4. 文学部開設百年記念シンポジウム—とってもいい気分(司会) | 1991 年 4 月 | 三田評論 4 月号第 924 号
慶應義塾 | 出席者 提慎三, 淀野隆之, 石井良, 杉田成道, 青池慎一(司会) |
| 5. 21 世紀への経営課題をどう解決するか | 1991 年 8 月 | 日経広告手帳
経営問題特集
臨時増刊号
日本経済新聞社 | 出席者 野中郁次郎, 青池慎一, 宮崎清孝, 紺野登, 小林貞夫 |
| 6. 独身・結婚・再婚(司会) | 1992 年 3 月 | 三田評論 3 月号第 934 号
慶應義塾 | 出席者 関沢英彦, 渡辺秀樹, 荻野アンナ, 青池慎一(司会) |
| 7. ドラマにおける満足とは—視聴者満足度調査の結果から— | 1993 年 2 月 | AURA 第 97 号
フジテレビ | 出席者 青池慎一, 上滝徹也, 山田良明, 伊豫田康弘(司会) |
| 8. 第 5 回消費生活国際フォーラム 資源保護社会への架け橋—浪費から健全消費の暮らしへ—(司会) | 1993 年 3 月 | 第 5 回消費生活国際フォーラム報告書
東京都消費者センター | 出席者 岡島成行(問題提起者), 弦念丸呈, ジェニー・スペース, 劉李次爾, 青池慎一(司会) |
| 9. 新聞広告のあり方を再考する—[新春座談会] 社会に活気与える企業情報の発信を— | 1994 年 1 月 | 広告月報 1 月号
朝日新聞社 | 出席者 青池慎一, 関沢英彦, 脇田直枝, 村山孝喜, 柴田鉄治(司会) |
| 10. 第 6 回消費生活国際フォーラム いま, 暮らしを変えられますか—持続可能な消費社会のために—(司会) | 1994 年 3 月 | 第 6 回消費生活国際フォーラム報告書
東京都消費者センター | 出席者 西川潤(基調提案), サフィア・ミレン, 小澤信夫, グロリア・ジェーン・バイロン, 青池慎一(司会) |
| 11. 第 7 回消費生活国際フォーラム 日本の物価は高い! ?—くらしの中から内外価格差を考える—(司会) | 1995 年 3 月 | 第 7 回消費生活国際フォーラム報告書
東京都消費者センター | 出席者 小山周三(基調提案), 古田範子, 山口貴久男, デボラ・ケーラー, リンダ・ユーズル, 青池慎一(司会) |
| 12. 当世若者気質(司会) | 1995 年 10 月 | 三田評論 10 月号第 973 号
慶應義塾 | 出席者 松田公春, 山田良明, 山本和郎, 青池慎一(司会) |
| 13. インフォスケープの世界 | 1996 年 8 月 | 三田評論 8・9 月号第 983 号
慶應義塾 | 出席者 青池慎一, 有澤誠, 熊坂賢次, 金安岩男(司会) |

14. トークイン97 くるまづくりの新潮流
(パネリスト)

1997年9月 くるまづくりの新潮流報告書
出席者 泉眞也(総合司会), 石川真禧照
(問題提起) 青池慎一, 泉麻人
社団法人自動車工業振興会

調査報告書(省略)